

1. 本町橋 100 周年

現役の橋としては、大阪市内最古の橋である本町橋が、今年 5 月に 100 周年を迎えました。

これを機に、5 月 29 日（水）に「祝 100 年！名橋・本町橋を学ぼう」と題し、講演会が開かれました。（（仮称）本町橋 100 年会主催）講演会では、橋の専門家として、松村博さんから歴史や技術等に関する内容が披露され、約 80 名の参加者の方が熱心に聴講されました。また、講演にあわせて橋のパネル展も開催されました。

また、5 月 18 日（土）には、船上から本町橋のルネサンス風デザインを楽しむクルーズが展開され、「あまのかわ」と呼ばれるリチウムイオン電池船が航行されました。

▼本町橋 100 周年パンフレット



▲パネル展の様子



▲講演会の様子



▲クルーズ前の様子

（参考： 東京・名古屋・大阪 100 年の橋フォーラムについて）

大阪市内最古の現役橋として、今年 100 歳を迎えた大阪の「本町橋」と同様に、名古屋の「納屋橋」も今年 100 年、そして東京の「日本橋」は、2011 年に 100 年を迎えています。これら日本の名橋をはじめ、世界のクラシカルな橋の魅力を紹介するとともに、3 橋の“橋守”を招き、次代へとつなぐ活性化策を話し合うフォーラムが開催されます。

◇ 日 時：11 月 5 日（火）18:30-20:30

◇ 場 所：大阪産業創造館 15 階 会議室（大阪市中央区本町 1-4-5）

【主 催：本町橋 100 年会、土木学会関西支部 FCC】

<http://www.osaka.cei.or.jp/b/pdf13/131105suito.pdf>

2. なにわ再発見

毎日文化センター（大阪市中央区）において、「水都」の魅力なにわ八百八橋と題したセミナーが開催され、橋梁課職員が講師として出向き、約 30 名の方々にご参加いただきました。セミナーでは、約 50 分の講演と、「浪華八百八橋がつなぐ人と街」という DVD の放映が行われました。

本セミナーの参加者を対象に実施したアンケートでは、「大変良かった」・「良かった」を含めて、9 割以上の方々から高い評価を頂きました。また、大阪市の橋について大変興味を持ち、今までとは違った視点から橋を観察できるといった感想がありました。

3. 橋洗い

◆中央区「橋洗いブラッシュアップ大作戦」◆

橋洗いブラッシュアップ大作戦は、橋を区民の皆さんと清掃し、積年の汚れを落とし、きれいになった橋をまちの魅力の一部として発信するものです。

5月19日（日）に東横堀川に架かる「安堂寺橋」、5月26日（日）にミナミの観光スポットとして有名な「戎橋」、5月29日（水）には浪華三大橋のひとつ、「天神橋」の橋洗いが行われました。



▲安堂寺橋（5月19日実施）：15名参加

▲天神橋（5月29日実施）：約30名参加



▲戎橋（5月26日実施）：約100名以上参加

4. お知らせ

「なにわ八百八橋物語 ～橋に見る大阪の再発見～」と題し、本年12月11日（水）に大阪市立城北市民学習センターにおいて、大阪の橋についてのセミナーを開催いたします。（主催：大阪市建設局・大阪市立城北学習センター）

本セミナーは、午前に講座で橋のことを学ぶとともに、午後からは実際に中之島周辺に架かる橋を見てまわることで、大阪のまちの魅力を再発見していただくものです。



5. 橋梁技術の継承に向けた取組み

◇政令市試行研修

平成 25 年 2 月 19 日（火）に、大阪府・神戸市・京都市・堺市・大阪市の連携による政令市試行研修を実施しました。今回の研修ではオブザーバーとして大阪市立大学大学院工学研究科の松村政秀准教授に参加して頂きました。

この研修では、維持管理の効率化を目指すため、設計演習や各自治体の課題に対しディスカッションを行い、政令市間での技術的知見の共有化を図りました。



▲研修の様子

◇なにわ八百八橋 先輩トークリレー

大阪市では、これまで 30 年以上の長きにわたり橋に関わる業務に携わった職員を講師として招き、次の世代を担う若手職員に向けて、橋の設計や維持管理に係る留意点等を継承していくための取り組みを行っています。

今年は西尾さんに講師を依頼し、3 月 19 日（木）に橋の構造や橋に関する業務の移り変わりなどの話を行っていただきました。参加者を対象に実施したアンケートでは、「土木技術の継承の重要性を改めて感じた。」といった意見がありました。



▲講義の様子

橋コラム

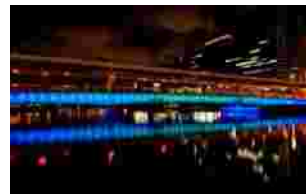
◇vol.5 天満橋（てんまばし）◇

天満橋は大川（旧淀川）に架かり、江戸時代以来、浪速三大橋と呼ばれ親しまれてきました。大洪水によって流出し、明治 21 年に木橋から鉄橋に架け換えられました。中央部分には市電が通っていました。現在の天満橋は、第一次都市計画事業によって昭和初期ごろに架けかえられたものです。

戦後、急速に発達した自動車交通の影響を受け、昭和 45 年には、廃止した市電の軌道敷に新天満橋の名称で高架橋が増設されました。

夜になると天満橋がライトアップされ、昼間とは異なった景観を楽しめます。本橋のライトアップでは、天満は大阪の商いを活気づけた「ガラス発祥の地」であったことにちなみ、この地の歴史を印象付けるガラスの切子模様を橋の側面に投影しています。

▼ライトアップされた天満橋



▼鉄橋となった天満橋

